

## Ⅲ その他(報告事項)

## (1)公園・遊歩道活用プロジェクトについて

### ■公園・遊歩道活用プロジェクトとは

愛宕・貝取・豊ヶ丘地区等まちづくり計画では、「地域の魅力出会う緑豊かな遊歩道や公園のさらなる活用を図るため、プレイスメイキングなどにより地域ニーズに対応した空間のあり方の検討をすすめ、健幸まちづくりの実現に資する快適で安全・安心な、地域住民の憩いの場となる屋外環境の創出」を目指すこととしています。

短

老朽化が進む公園や遊歩道の課題解決にあたり、多世代が快適に利用できる公園や遊歩道の新しい場の使い方について、早期にプレイスメイキングなどを通じて実験

長

利用者ニーズを踏まえ、新たな使い方を促進するルールづくりや、将来的な公園・遊歩道の改修やバリアフリー化なども含めたハード整備を検討・実施

2040 年代

短期的な実践メニューイメージ

#### ①公園のサードプレイス化実証実験

Ex) 可動式イスの設置などによる公園における新たな居場所づくりの実証実験。



事例：多摩中央公園パークライフショー

#### ②遊歩道・公園等を活用したマルシェの実施

Ex) 公園の賑わいを通りに表出し、エリアの一体的な賑わいを創出するイベントなどの実施。



事例：永山団地イベント

#### ③柔軟な公園活用に向けた規制緩和などの実証

Ex) 焚き木など従来公園で規制されている活用について利用ニーズなどを実証実験で把握する。



事例：多摩中央公園パークライフショー

将来的な公園や遊歩道の整備を見据え、地域住民が使いやすく、快適で安全・安心な屋外環境の形成にむけ、プレイスメイキングなどを通じて新たな場の使い方を検証し、ニーズに応じたハード整備を検討・実施します。

本年度は多摩ランタンフェスティバル2025に合わせて、公共空間の使い方を考える社会実験を実施します。

# (1)公園・遊歩道活用プロジェクトについて

- ・ 社会実験の実施に向けて、昨年度はランタンフェス関係者にヒアリングを実施
- ・ 今年の**ランタンフェス期間に社会実験を実施**  
(ランタンフェス期間10/6(月)～10/12(日))
- ・ また、ランタンフェス開催エリアに位置する**豊ヶ丘複合施設では再整備に向けた基本計画を検討中**であり、  
社会実験の**企画検討にあたっては豊ヶ丘複合施設の再整備と連携**していく

## ■豊ヶ丘複合施設



## ■ランタンフェスパムフレット





# (1)公園・遊歩道活用プロジェクトについて

## 社会実験の目的

- ・ 日常における公共空間の利活用
  - ・ 住民による公共空間の利活用
- 公共空間の再整備における  
良好な空間イメージを提示する。  
公共空間の本来の機能と  
共存可能な利活用部分の  
空間の使い方を検討する。

社会実験実施イメージ

## 心地よく過ごせる滞留空間

- 人工芝を敷き、滞留空間の良いしつらえのベースをつくる
- テーブル・椅子を置き、珈琲等を飲みながら一休みできる空間をつくる



## マルシェ出店スペース

- キッチンカー、マルシェスタンド等を活用し、希望する方が出店し、珈琲やお菓子等の販売ができるスペースを設ける
- 購入したものは、左記①の空間で飲食しながら休憩できる



## 図書・読み聞かせ・お絵かきコーナー

- 児童館の補完として、子どもが絵を描いたり、マスキングテープや黒板でお絵かきできるコーナーを、壁側に設ける。(板やアクリル板、ダンボール等を立て掛けることを想定)
- 図書館や児童館の拡張・補完として、本を読めるコーナーを設置し、児童館スタッフや大学生・高校生の協力により、読み聞かせや紙芝居を実施。(可能であれば、児童館の絵本などを借用できると良い)



出典:社会福祉法人由寿会 アーバンチャイルド保育園HP  
<https://yoshikai.or.jp/urban-hoiku-nagata/>



出典:ベネッセHP  
<https://www.benesse.co.jp/>



出典(一社)日本横浜町エリアマネジメントHP  
<https://areamanagement.hamacho.jp/>

## 地域ワークショップ

- ランタンフェス時のみ、地域の団体や事業者により、それぞれの得意分野を活かした体験ができるワークショップを開催



出典:ベネッセHP  
<https://www.benesse.co.jp/>

出典:KOBE JOURNAL HP  
<https://kobe-journal.com/>

## (2)多摩市立地適正化計画の検討開始について

### 【立地適正化計画の策定について】

- ・ 令和8年度末の策定を目指し、**令和7～8年度の2箇年で検討**を進める。
- ・ 計画の策定によりコンパクトなまちづくりに取り組み、持続可能な地域社会の実現を目指す。

### 【策定体制】

- ・ 庁内関係課で構成する**「多摩市立地適正化計画検討委員会」**が主体となって検討
- ・ 学識経験者で構成する「多摩市立地適正化計画検討懇談会」に報告し、**専門的な見地から助言**を求める。

※第1回：8月8日（金）に開催した  
第2回：11月上旬 開催予定

- ・ 市民主体のまちづくりにつなげていくため、**オープンハウス等も開催予定**

